

令和5年度学校関係者評価委員会評価結果

1. 令和5年度 学校関係者評価委員会の開催

日時：令和6年3月18日（月）11:00~12:00

出席者：委員：教育に関する有識者1名、看護管理者1名、卒業生1名、保護者1名
地域企業代表2名

学校側：学校長1名、副学校長1名、教育主事2名、事務長1名

- 議事：1) 令和5年度の学校運営について各委員からの評価
2) 学校運営に関する課題
3) その他

2. 評価結果

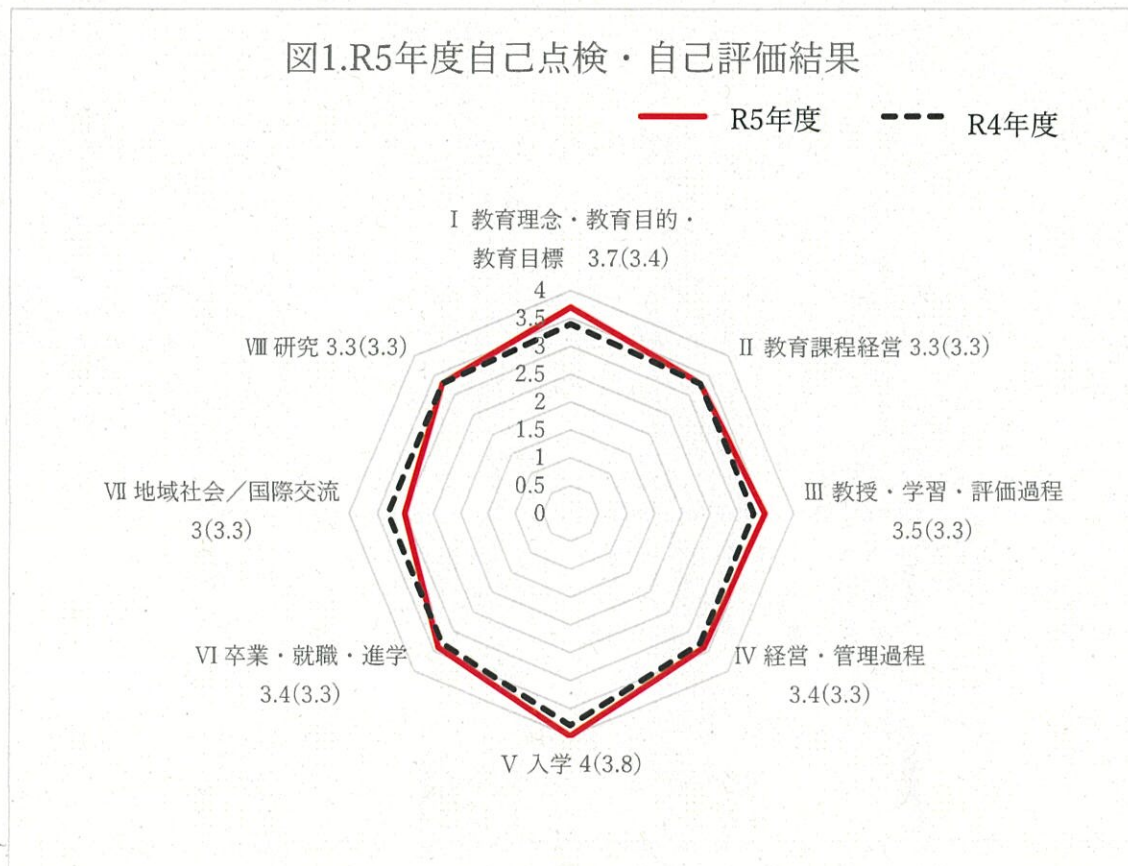


表 1. 学生による学校評価

n=154

	大いに そう思う	そう思う	ややそう 思う	全く思わ ない
1. 教育方針・教育理念は、明確に示されている。	24%	53%	23%	0
2. 基礎分野の教育内容に満足している。	19%	54%	25%	1%
3. 専門基礎分野の教育内容に満足している	21%	56%	22%	1%
4. 専門分野の教育内容に満足している	21%	56%	21%	1%
5. 実習の教育内容に満足している	18%	47%	29%	6%
6. わかりやすい授業が多い	6%	46%	42%	6%
7. 専門的な知識が身につく	27%	53%	19%	1%
8. 専門的な技術が身につく	25%	51%	22%	2%
9. シラバスと実際の授業に内容は概ね一致している	20%	64%	15%	1%
10. 学習するための教材及び図書は十分である	22%	59%	18%	1%
11. 個別指導、進路相談など学生をサポートする体制が整っている	15%	45%	34%	6%
12. 健康管理体制に満足している	25%	47%	25%	3%
13. 課外活動に満足している	13%	49%	31%	7%
14. カリキュラムに対して評価する機会が与えられている	26%	51%	23%	1%
15. 学校職員は、学生の関心事に耳を傾け、近づきやすい	18%	50%	29%	4%
16. 全体的にみて、本校で学んだことに満足している	15%	53%	27%	5%

3. 学校関係者評価委員による評価結果

- 1) 受験生確保については、高校訪問数増及び地域の拡大、オープンキャンパスの回数増、学校見学の土日対応等様々な取り組みを行ったが受験生は98名と減少した。少子化や看護大学増による影響による。委員の看護学校でも苦慮している。今後も継続した取り組む必要がある。
- 2) 学生の学校評価で「わかりやすい授業が多い」という項目の「大いにそう思う」が低い。ネットを介したコンテンツを利用するなど、学習方法の工夫が必要ではないか。
- 3) 実習指導においては、学校と臨床の連携強化を図り、実習環境が良い方向に変わったと聞いている。今後の課題としては、臨床スタッフへの周知方法を工夫してほしい。
- 4) 学校運営に対して学生からの提案もあるようなので対策を検討してほしい。

4. 学校運営における課題及び今後の取り組み

- 1) 受験生確保のための募集活動の工夫
- 2) 教員間の連携協働体制の整備
- 3) わかりやすい教育方法の工夫
- 4) 実習指導体制の更なる連携及び病棟スタッフへの周知方法の工夫